

横須賀市立長浦小学校

学校便り

ながうら



年忘れ号

平成27年（2015年）12月25日（金）

発行 学校長 大西 正康

長浦小学校 学校教育目標

1. 自ら考え工夫する子 2. 思いやりのある子 3. 礼儀正しく元気な子

来年も《安心》の年に

本年平成27年も余すところ、あと1週間と
なって参りました。皆様には、お変わりなく
お過ごしでしょうか。

さて、光陰矢の如しとばかりにあっという間
に過ぎていった一年でしたが、子どもたちにと
っては、どのような日々であったでしょう。ご家庭でも、何かの折にお
話しいただけたら幸いです。

今年は、本校にとりましても《安》の一年であったかと思えます。こ
れといった大きな事件・事故がなかったことが、何より心安らかになる
要因です。それというのも、ご家庭・地域の皆様がいつも変わらぬ温か
い眼差しで、子どもたちをいろいろな角度から見守っていただいている
お蔭と痛感いたします。まずは何よりもこの点につきまして、深く御礼
申し上げます。ありがとうございました。

さあ、明日からは冬休み。子どもたちにとって、何かと楽しみの多い
日々かと思えます。ご家庭や地域の皆様といろいろな場面でふれあい、
語り合えることができればいいと思います。

それでは皆様、今年一年、本当にありがとうございました。新しい年
もまた素晴らしい一日一日となりますよう願っています。どうぞ良いお
年をお迎えください。



ご来校に関するお願い

日頃より、本校教育に何かとご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、落ち着いたこの長浦・安針台地域でも、不審者に遭った、などという声がある昨今の状況に鑑み、児童の安全・安心の確保のために、保護者・地域の方々が本校に来校される時のルール・マナーについて、改めて確認させていただきます。

校内に入られる時は、まず玄関で《受付と名札》を確実にお願いします。教室に入られる時は、まず担任に一言を。授業中の教室では、当然のことながら、児童に話しかけたり保護者同士の私語をしたりすることは厳に慎んでいただきますようお願いいたします。

また、個人情報保護の観点からも、画像・動画等の撮影につきましてはご遠慮ください。授業の参観等については、出来ましたら、年間に予定された授業参観日や『学校へ行こう週間』等のご活用をお願い申し上げます。以上、児童の安全確保の観点から、これまでより遥かに来校者への配慮をせざるを得ない状況下であることを、ご理解いただけますようお願い申し上げます。

シリーズ できることから始めよう

その⑦ ケータイ・スマホについて考え直そう

今年度の始めに、『ケータイ・スマホ スタンダード』というプリントが配られたことを記憶されてますか。ケータイ・スマホの現状は、大人を理解を遥かに超えたような事態となっているとの話は、決して他人事ではありません。ここでは、改めて以下の4点につきご確認いただき、子どもたちが《とんでもないトラブルの当事者》とならないよう、ご家庭でも、よく話し合いをしていただければと思います。

- ①ケータイ・スマホは、保護者の責任において、子どもに貸し与えるものです。万一の時には、保護者に賠償責任等が求められます。
- ②フィルタリング機能は、必ず利用しましょう。
- ③午後9時以降の使用は控えさせ、保護者が預かるようにしましょう。
- ④モラルやマナーを守り、思いやりを大切にすることを育てましょう。

学校内外日誌

① 北郷地区PTA合同研修会（12月5日）

今年は、鷹取中学校を会場に、各校のPTA役員の方が参加して行われました。5つの分科会に分かれ、PTA活動に関わる課題や成果などを熱心に話し合い、有益な情報交換の時間となっていました。土曜日のお忙しい時間に、出席いただいたPTA役員の皆様、誠にありがとうございました。

② 学習発表会（12月11日）

日頃の学習の様子をたくさんの保護者・地域の皆様にご覧いただきました。それぞれの学年らしい発表が続き、短時間でしたが楽しい時間となりました。子どもたちも自分たちの発表前は緊張したことと思いますが、きっと良い経験になったことでしょう。



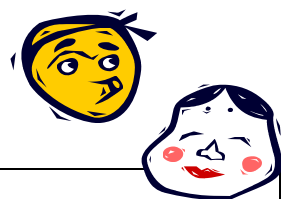
③ いじめ防止委員会全体会（12月15日）

いじめ防止条例制定に伴い、各校でこの会を開催しています。本校での全体会では、主任児童委員と民生委員、そして学童関係者にご出席願っております。今年は、特に東逸見地区担当の主任児童委員・民生委員計3名の方にも加わっていただき、さらに充実した構成となりました。

今のところ、本委員会が緊急に話し合い、対策を考える事案は出ていませんが、今後とも『いじめは絶対に許さない』と職員一同肝に銘じて、一段と配慮をして参りたいと思います。

《 1月 主な予定 》

～ *元旦 1日 *成人の日 11日～



・ 8日 (金)	・ 授業再開	・ 朝会	・ 銀行振替日
・ 12日 (火)	・ 給食再開	・ 集会	
・ 13日 (水)	・ 読み聞かせ	・ 懇談会	
・ 14日 (木)	・ 委員会活動	・ 懇談会 (22日)	< 1・2年 >
・ 15日 (金)	・ 学校保健委員	・ 懇談会	
・ 18日 (月)	・ 校内書写展	・ 懇談会	< 5・6年 >
・ 19日 (火)	・ 授業参観	・ 懇談会	< 3・4年 >
・ 20日 (水)	・ 授業参観	・ 懇談会	・ 銀行振替日
・ 21日 (木)	・ 授業参観	・ 懇談会	
・ 22日 (金)	・ 授業参観	・ 懇談会	
・ 25日 (月)	・ 朝会	・ 美術鑑賞	
・ 27日 (水)	・ たわわり班遊		
・ 28日 (木)	・ クラブ活動		
・ 29日 (金)	・ 田浦中学校	・ へようこそ	< 6年 >

— ルーティン —

ラグビー五郎丸歩選手のしぐさから有名になった『ルーティン』だ。もともとは『決まりきった手順、日常業務』などという意味。

私がこの言葉と出会ったのは、大学生時代。授業よりも授業料値上げ反対のストライキをすることの方が多いた妙な大学だったので、アルバイトに向かうことが多かった。その一つが、新宿の新大久保駅近くにあった《風月堂》というレストランでの調理手伝い。当時の新大久保は、まだ今のようなコリアンタウンになる前の普通の商店が並ぶ街。新宿高層ビル群をすぐ目の前に望みながらも、どこか大江戸八百八町の匂いを残すいい町並みだった。

そのく風月堂で初めて教わったのが、出勤してからすぐの動線と動作。店の中に入りながら、あちこちの電気のスイッチを順番に入れたり、調理場に入ったら、大鍋にまず水を注ぎ、すぐに火をつけ沸かし始める。そして、次に……。まさに、『ルーティン・ワーク』だ。これらは、一冊のマニュアル本に書いてあるからではなく、そこで長期間務めてきた人がそれまでの経験から編み出したものだけに説得力があった。その順番通りに、毎日手落ちなく進めていけば、朝からの仕事が極めて順調に進む。この経験があるだけに、その後教員になってからも、一日の手順をなるべくルーティン化しようとしたのだが……。しかし、教職は、日々成長する人が相手。そう簡単にルーティン化することはできない、いやすること自体無理だろう。一人ひとり個性と変化のある相手に失礼だ。今は、せめて出勤して校長室に入ってから諸動作だけは、『ルーティン化』している。

日常化が進み、それがすっかり慣れたものになると、やがて今度は、『決まりきった変化のない日常』『こんな平凡な毎日は、もう飽き飽きだ。』などという不満に繋がってきがちだ。しかし、最近私は、この決まりきったような日常が続くことが、どれだけ幸せなことか、と思うようになった。昨日と変わらない今日が続くということは、幸せの一つの形である。病気や事故、災害などで、ついさっきまで元気だったのに……。突然今までの日常とはまるで異なる時間が流れるようになってしまった、こういうことは多い。そして、これは決して他人事ではない。

だからこそ私は、この『平凡な日常』を大切にしたい。飽きるような詰まらないと思えてしまう平凡な日々だって、いいじゃないか。毎日同じようなけんかをしたり、不満を持ったりすることもあるけれど、今と言うこの時間を共に歩んでいる人間たちが存在してくれることの有難さ。これを失った時の悲しみを深く思うのである。